

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別添様式2)

公表日: 2021年 2月 3日

事業所名: 児童発達支援センターたんぽぽ

サービス種類: 児童発達支援

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	スペースの確保はできている。	はい 100% いいえ 0% どちらともいえない 0% わからない 0%	今後も維持に努める。
	2 職員の適切な配置	できている。利用状況に応じた対応もしている。	はい 92% いいえ 0% どちらともいえない 4% わからない 4%	体制の維持に努める。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	施設がバリアフリー。各部屋に名前を付け絵表示している。写真も活用している。	はい 92% いいえ 0% どちらともいえない0% わからない 8% ・わかりやすい環境になっている。	常に改善点がないか検討する。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日当番制で清掃し、月一回は重点箇所を決めて清掃している。	はい 98% いいえ 0% どちらともいえない 2% わからない 0% ・消毒されているか不明・時々埃が気になる	更に丁寧に取り組む。消毒済かどうかわかるような表示を検討する。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	法人の人事評価制に則り、年2回実施している。		引き続き取り組んでいく。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	今年度は受審できなかった。		受審の方向で取り組む。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	外部研修への積極的な参加を推奨しているが今年度はコロナで機会も減ってしまった。法人内の事業所との交換研修を実施した。		できる限り希望の研修に参加できるよう調整していく。 内部での研修を充実させる。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	ニーズの把握に努め計画を作成している。	はい 96% いいえ 4% どちらともいえない 0% わからない 0%	アセスメントの実施方法を見直す。 課題分析に努める。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	必要に応じて作成している。		必要に応じて作成する。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	記載している。	はい 94% いいえ 0% どちらともいえない 6% わからない 0%	今後も記載する。
	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	適切な支援が行えるよう、PC内で計画を確認できるようにしている。	はい 96% いいえ 0% どちらともいえない 2% わからない 2% ・目標達成に向けて工夫し寄り添ってもらえる	常に確認ができるようにはしているため、更に実施内容を検討する機会をつくる。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	常に担当者と話し合っている		継続して行う

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	長期休暇の個別の利用時間については対応している。	必要に応じて対応する。	
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	過去の活動と重複しないよう確認し、新しい活動となる情報の収集に努めている。	はい 90% いいえ 0% どちらともいえない 6% わからない4% ・子どもがやりたい事をさせながら、ポイント押さえて関わってもらえる。	引き続き取り組む。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	毎回実施している。		引き続き徹底していく。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	終了直後や記録の記入の際に振り返りと今後の支援について話し合っている。		引き続き取り組む。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	毎日記録し実施している。		引き続き取り組む。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	している。		引き続き取り組む。
関係機関	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	会議の趣旨に応じて、相応しい者が参加している。		今後も適切な対応をする。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	保育所等訪問支援の範囲内で対応し共有に努めている。その他必要な場合は適時連絡をとるようにしている。		今後も適切な対応をする。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
との連携	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供			
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	必要に応じて連絡をとっている。研修があれば積極的に参加している。	今後も取り組んでいく。	
	7	児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	交流の機会は持っていない。	はい 36% いいえ 14% どちらともいえない 2% わからない 48%	普段は園、普通学校、放課後学童に通っている子どもが多いため、交流の機会は検討していないが、慎重に判断する。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	例年併設する施設の行事に参加しているが、今年度は行事が中止となった。		今後も合同で取り組む。
保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	説明する機会をもっている。	はい 98% いいえ 2% どちらともいえない 0% わからない 0%	更に丁寧な説明に努める。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	個別に時間をとり計画を示しながら説明している。	はい 94% いいえ 2% どちらともいえない 0% わからない 4%	更に丁寧な説明に努める。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	実施していないが、外部からの案内はお知らせしている。	はい 52% いいえ 4% どちらともいえない 6% わからない 38%	必要性は感じているので、検討していく。 ・活動を見る機会があればいい。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	毎回活動時に保護者との情報共有はしている。	はい 90% いいえ 0% どちらともいえない 10% わからない 0%	今後も適切な対応をする。 ・都合で直接ではないが代理者からは聞いている。 ・的確なアドバイスがもらえる。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	必要に応じて対応している。	はい 72% いいえ 2% どちらともいえない 18% わからない 8%	今後も必要に応じて対応していく。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	会としての活動は実施していない。	はい 22% いいえ 20% どちらともいえない 12% わからない 46%	必要かどうかの判断をしていく。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情があった場合は事実確認を早急に行い、関係者で検討し、対応している。	はい 48% いいえ 2% どちらともいえない 4% わからない 46%	今後も適切な対応をする。 ・苦情の場面に遭遇していない。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	特性に合わせて対応をしている。	はい 92% いいえ 2% どちらともいえない 0% わからない 6%	より良い配慮ができるよう検討する。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月のお便りを発行し、ホームページでも活動報告や予定を知らせている。必要に応じて文書を配布している。	はい 74% いいえ 0% どちらともいえない 4% わからない 22%	お便りやホームページの充実に努める。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	慎重に対応している。	はい 82% いいえ 0% どちらともいえない 2% わからない 14%	今後も慎重に対応する。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	マニュアルは策定しているが、まだ周知徹底は不十分である。	はい 51% いいえ 3% どちらともいえない 11% わからない 31% ・マニュアルはあると思うが自身では理解できていない	周知方法の検討をする。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	定期的な実施には至っていない。	はい 20% いいえ 6% どちらともいえない 13% わからない 57% ・定期的に行っているのかわからない	定期的実施に向け検討する。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	している。		今後も確保していく。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	現在、対象となる子どもはいない。		必要となった場合は適切に対応する。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	医師の指示書ではなく、保護者に給食のメニューと成分表を確認してもらい、除去食を提供している。		保護者との確認を徹底し、必要に応じて医師の判断を求める。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	事例が発生した場合は記録しファイルに保管し、職朝で報告している。		今後も徹底していく。

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日：2021年 2月 3日

事業所名：児童発達支援センターたんぽぽ

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	スペースの確保は十分にできている	はい86% どちらともいえない1% わからない0.3%	支援の内容等、状況に応じて対応する。
	2 職員の適切な配置	出来ている。利用者数やプログラム内容により、ボランティアの受け入れも行っている。	はい94% わからない1% ※職員の人数が限られているので、いっばいな感じがする	体制の維持に努める。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	施設がバリアフリーになっている。ピクトグラムの活用や絵カードによる設備案内を行っている。	はい94% わからない1% ※職員の人数が限られているので、いっばいな感じがする	常に改善点がないか検討している。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日、清掃(アルコール消毒含む)を行い、毎月1回は、重点箇所を決めて清掃している。	はい94% わからない4%	トイレ・洗面台等清潔です。継続して行く。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	法人として、人事評価制度を2回/年実施している。		引き続き取り組んでいく。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	今年度は、受診していない。		次年度、受診の予定である。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	年数回の内部研修を行っている。外部研修についても、積極的な参加を促している。		リモートにも対応できるように、環境を整えていく。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	ニーズの把握に努め作成し、個別・集団療育の必要性に応じ計画を作成している。	はい92% どちらともいえない7% わからない0.3% ※4月から預かり保育的な感じがする。 ※その子に合った支援が少なくなった。	支援計画は勿論、毎日の課題についても振り返りがあります。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	利用者の必要性に応じて作成している。	はい95% どちらともいえない2% ※無回答あり	集団療育の目的を保護者に伝えていく努力を継続していく。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	記載している。地域支援・家族支援の項目も新たに付け加えている。	はい91% どちらともいえない0.5% わからない8%	今後も、継続していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	適切な支援が行えるように、PC内で計画を共有できるようにしている。	はい81% どちらともいえない7% わからない12%	今後も継続と、支援内容検討会を実施してい
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	放課後デイの職員と児発管による会議を行っている。 また、必要に応じて下見を行うなど支援に最適な方法を検討している。		今後も、継続していく。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	地域の小学校との交流会の実施や時間外のサービス提供等もおこなっている。		引き続き実施していく。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	過去の活動と重複しないように配慮している。また、新しい活動で出来るように情報収集に努めている。		引き続き実施していく。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	毎回、実施している。		引き続き実施していく。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	終了直後、簡単な振り返りを職員間で行っている。また、記録記入の際に、再度、サービス提供時の支援内容に差異がなかったのか確認をしている。		引き続き実施していく。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	上記と同様。児発管による検証も行っている。		引き続き実施していく。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	常に行っている。		引き続き実施していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	担当者が出席している。		引き続き適切な対応を行っていく。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	保育所等訪問支援の範囲内で対応し、共通理解に努めている。 また、個人情報保護規定を遵守して行ない、必要以上の情報提供がないように気を配っている。		学校・病院共に情報共有できている。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	必要がある場合にのみ行っている。		引き続き適切な対応を行っていく。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	必要に応じて連絡を取っている。 また、研修があれば積極的に参加している。		今後も、継続していく。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	地元団体との交流を図っている		交流の目的・意義を保護者に伝える努力を行っていく。 また、おたよりやHPに活動報告等を載せ啓発を行っていく。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	事業所単位での行事は実施していない。 しかし、併設する施設や法人の行事として行う行事には利用児とともに参画している。	はい12% どちらともいえない一人 いいえ 16% わからない18% ※特に、療育内容に必要でないのでもなくて大丈夫です。 ※個人的には必要ない	今後も、継続していくが、事業所のみで行事が行えるか検討していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	おたより・利用前後に保護者に説明をしている。	はい88% どちらともいえない7% わからない一人 ※サービス提供後の説明は丁寧です。	随時、必要に応じて実施していく。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	個別に時間を取り計画を示しながら説明をしている。	はい95% どちらともいえない一人 わからない一人 ※サービス提供後の説明は丁寧です。	随時、必要に応じて実施していく。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	実施していない。届いた研修の案内はお知らせしている程度である。	はい37% どちらともいえない18% いいえ 8% わからない 26%	必要性は感じているので、今後、実施していきたい。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	実施記録や毎回持ってくるノートに課題や相談を記入してもらっている。	はい90% どちらともいえない一人 わからない 0.5% ※無回答あり	今後も、継続していく。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	必要に応じて対応している。 難しいケースは、臨床心理士が対応している。	はい72% どちらともいえない7% いいえ 2人 わからない 12% ※いろんな相談を聞いてもらってます。	今後も、継続していく。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	会を組織していない。	はい26% どちらともいえない16% いいえ 26% わからない 32% ※ なくて大丈夫 ※送迎サービスが始まり、保護者同士の交流が	アンケートや保護者の聞き取りを行い、必要性を判断していく。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情があった場合は、事実確認を行い早急に対応している。	はい60% どちらともいえない2人 わからない 30% ※苦情の窓口は知っているが、苦情があったかは分からない。	苦情箱等を設置しているが、苦情の解決や改善方法などの情報提供が不十分であったので、再度、検討していく。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	障害特性に合わせて対応している。	はい84% どちらともいえない一人 わからない 14%	今後も適切に対応していく。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月、活動報告や月の予定プログラム及び支援の目的を明記したお便りを配布している。また、必要に応じて、文書にて情報提供を行っている。	はい67% どちらともいえない9% いいえ 一人 わからない 21% ※HPを見ていない	おたよりの配布の徹底を行う。HPの更新と閲覧を促していく。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	慎重に対応している。	はい84% どちらともいえない一人 わからない 12%	今後も継続していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	マニュアルは策定している。まだ、保護者には周知できていない。	はい47% どちらともいえない二人 わからない 14% ※無回答多数	HPの活用やモニタリング時などに保護者に対して周知徹底を図っていく。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	半年に1回 避難訓練を実施している。	はい28% どちらともいえない二人 いいえ 一人 わからない 30% ※無回答多数	1～3/月の利用者が多く、訓練日に利用がない利用者が多いので、実施報告をおたより・HPなどでお知らせを行っていく。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	アンケートの実施や研修の機会を設けている。		今後も実施していく。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	対象となる利用児はいない		必要となった場合は、関係機関と相談しながら実施していく。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	対象となる利用児はいない 軽度の利用児は、除去食で対応している。		必要となった場合は、関係機関と相談しながら実施していく。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	マニュアルの策定と、事例発生の場合は、記録の作成と職員会議で共通理解を図っている。		今後も徹底していく。

